



# クローバー動物病院

## だより 第2号



今回は、毎年5月から始まるフィラリア予防と腸内寄生虫についてです。

### 1 フィラリア予防

☆ フィラリアは心臓の近くに寄生する虫で、重症になれば、命が危険です。

※ フィラリア症の犬は、この長さの虫が15~90匹位も、7割2割の子犬がいます。

"Xス"はもっと長くて、2.25~3.0cmもあるんだ。

フィラリア成虫"オス" 動物大(長さ12~18cm) 卵

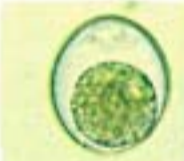
☆ この虫は蚊によって運ばれますので、フィラリアをもっている蚊に刺されれば、簡単に犬の体内に入ってしまう。

☆ 家の中にもいる蚊を防ぐのは困難ですが、虫が感染しても、月に1回お薬を飲ませることで、フィラリア症を予防できます。

☆ フィラリアの寿命は5年です。

☆ 感染していても、フィラリアを予防すれば、5年後には体内からいなくなります。

☆ 感染後予防して、体内にいなくなっても、心臓に何らかの負担がかかっていますので、激しい運動やストレスはできるだけかけないようにして下さい。



コクシジウム卵

### 2 腸内寄生虫

大回虫 長さ5~10cm X2 9~20cm



回虫卵



大鞭虫 長さ4~5cm X2 5~7cm



鞭虫卵

☆ 犬のおなかに寄生する虫にはいろいろな種類があります。

☆ 中でもお母さん犬のおなかにいる時に移ってしまう回虫という虫は、1ヶ月で成虫になり、悪さをします。

☆ 虫が寄生しているかは、便を検査すれば、種類も分かります。

☆ 特に子犬を飼われた時は、始めに検便しておなかに虫がいらないか確認するといいでしょう。

瓜条条虫 子犬からうつります



片節が1つ1つと便と一緒に出てきます。

出たお尻に伸びた糞んごはクサを嗅ぎます。

乾燥すると、犬猫のおいにお米粒が1つ1つものごとくついているのを発見する。